

今後の活動に向けて

地域共創センターは平成20年4月に設置された組織で、旧産業文化研究所やエクステンション委員会を発展的に取り込み、「地域調査研究部門」「地域教育活動部門」「アーカイブ部門」で構成されています。センター設置の目的は地域の問題と課題を見出し、その解決に向けて地域の方々と連携して取り組むことにあり、発足当初からこれまでに様々な事業を展開して今日に至っています。

センター設置約10年という節目を迎えるにあたり、現在に至る共創センターの成果についてより一層の情報公開に努め、また外部の識者等から地域共創センターの現状や今後の課題について助言を受ける機会を設ける予定です。

次期地域共創センター長 濱田 英嗣

Information 地域調査研究部門

1. 地域共創研究

■本学教員から企画を募集し、テーマなどを審査して採択しています。その成果は成果報告会で公開されるとともに、定期刊行物『地域共創センター年報』に論文として掲載され、また山口県大学共同リポジトリ『維新』にてWeb公開されます。

2. 関門地域共同研究

■北九州市立大学との共同研究です。行政区間を超えた「関門一体」を研究対象にする、というユニークな共同研究です。両市と双方の市立大学の思惑が一致してこの研究会の結成となりました。必要に応じて地元や近隣から委嘱研究員を招聘しています。毎年度、その成果を年刊『関門地域研究』として公刊するとともに、成果報告会を開催しています。

3. 国際共同研究

■旧産業文化研究所時代には、本学と青島大学にて学術共同研究を実施していました。現在では東義大学校(韓国釜山市)との共同研究を実施し、国際共同研究シンポジウムを開催しています。

4. 自主調査研究

■センター発足にあたり、調査研究部門のスタッフは地域調査研究のコーディネーター集団に衣替えしました。コーディネーターが企画し、調査研究プロジェクトを提案します。調査研究スタッフを編成して、調査研究プロジェクトの進行を補佐します。

5. 受託調査研究

■地域課題について調査研究の依頼があれば、コーディネーター集団が開始します。また、プロジェクト化の可能性を図り、対応いたします。

6. 自主資料収集

■さまざまな発行物や下関市内商工会文書等の資料収集を進めています。

Information 地域教育活動部門

平成29年度開講予定の講座です。企画が出来次第、ご案内します。

市民大学

●公開講座 ●開放授業 ・教養総合

●出前講座

●テーマ講座

スケジュールの詳細は決定次第ホームページ等でお知らせします。

Information アーカイブ部門

地元下関の産業、文化、歴史などに関する史資料の収集、保管、公開をすることで地域貢献をしています。特徴的なのは下関を代表する水産資源である、鯨やふぐの資料を集めた鯨資料室ふぐ資料室を設置していることです。事業者や個人から寄贈していただいた貴重な資料や購入した関連書籍を公開したり、かつて捕鯨に携わった方から聞き取り調査を行いそれを映像化するなど、時の流れとともに散逸していく資料を収集し、地元の方にも余り知られていない情報を留め、後世に残していくこと。それがアーカイブ部門の目的です。今後も様々な情報をシンポジウムや広報誌などで発信していきながら、地域に貢献していきます。

出版物のご案内



地域共創センター年報 Vol.9



関門地域研究 Vol.25



地域共創センターニュースレター Vol.8



資料室だより Vol.5

スタッフのご紹介

□地域調査研究部門 研究員

水谷 利亮 部門長
山川 俊和
佐藤 裕哉
嶋田 崇治
吉武 由彩

□地域教育活動部門 コーディネーター

外戸保 大介 部門長
川野 祐二
萩原 久美子
天野 かおり
吉武 由彩

□アーカイブ部門 研究員

松本 貴文 部門長
吉武 由彩

地域共創センター ニュースレター

発刊◆2017年3月31日 発行◆下関市立大学附属地域共創センター(本館Ⅱ棟2階)
〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1-1 MAIL◆chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp
TEL◆083-254-8613 FAX◆083-253-1622 URL◆http://www.shimonoseki-cu.ac.jp

地域共創センターニュースレター

2017
Vol.9

下関市立大学附属地域共創センターは、大学人(法人職員と学生)と地域の方々と協働で地域資産を掘り起こし、地域課題を見出して、その課題解決に取り組むことを目指します。

あいさつ

「地域と大学が共に作る社会」

近年の地域経済の状況を見ると、地域における学生の活躍の幅は広がってきています。学生は、大学で学習すると共に地域の方々と学びも深めることが求められております。地域での公立大学は、地域と一体となり連携を組むことで地域経済や地域社会を支える組織になることができます。さらに、地域の諸問題を研究機関として科学的に解明していくことでも貢献ができます。人口減少が激しい下関市にとって学生は地域での活躍が欠かせない人材になっています。学生は、日常生活の中でも地域と関わりをもって、地域課題を地域での生活から見つけることができ、地域共創センターは、地域と学生を結びつける機関として大いに役立つことができると考えております。

下関市立大学附属地域共創センター
センター長 難波 利光



公立大学法人
下関市立大学
Shimonoseki City University

Shimonoseki City University Institute for Collaborative Community Development Newsletter

●市民大学公開講座

《Discussing the News》(全6回 木曜日)
日 時：5月26日～6月30日 18：30～20：00
講 師：ポール コレット特任教員

《日本の社会保障と財政》(全1回 木曜日)
日 時：5月26日 18：30～20：00
講 師：中川 真太郎准教授

《株式会社を設立してみよう！》(全1回 月曜日)
日 時：6月27日 18：30～20：00
講 師：久保 佳納子講師

《ゲストハウスによる楽しい空間づくり》(全5回 火曜日)
日 時：7/12, 7/26, 8/9, 8/23, 8/30 18：30～20：00
講 師：沖野 充和、勝俣 貴仁、木村 大吾、
塩満 直弘、難波 利光教授

《哲学者と政治》(全1回 水曜日)
日 時：7月20日 16：30～18：00
講 師：西田 雅弘教授

《高齢期と生きがい》(全1回 水曜日)
日 時：10月19日 18：30～20：00
講 師：吉武 由彩特任教員

《地域は自然とどう向き合うのか》(全5回 火曜日)
日 時：11月8日～12月6日 18：30～20：00
講 師：徳野 貞雄、河井 昌猛、柴田 俊彦、
小林 文男、松本 貴文講師

《パソコンでハングルをもっと楽しもう》(全2回 木曜日)
日 時：11/10, 11/17 10：40～12：10
講 師：呉 香善特任教員

《公共マネジメントとNPO》(全1回 木曜日)
日 時：11月10日 18：00～19：30
講 師：川野 祐二教授

●開放授業

《地域論》(全15回 木曜日)
日 時：4月14日～7月28日 9：00～10：30
講 師：外戸保 大介准教授

《教養総合A》(全15回 金曜日)
日 時：9月30日～H29年1月20日 16：30～18：00
講 師：天野 かおり准教授 他

●下関市生涯学習まちづくり出前講座

《お金から見た日本史》
日 時：10月12日(水) 13：30～14：30
場 所：下関市社会福祉センター 4階大ホール
講 師：櫻木 晋一教授

●市民大学テーマ講座

《地方創生時代の海峡のまちづくり》
日 時：11月26日(土) 13：30～16：00
場 所：下関市立大学 本館2階 I-206教室
講 師：丸藤 競 (函館市地域交流まちづくりセンター長)
「津軽海峡と函館のまちづくり」

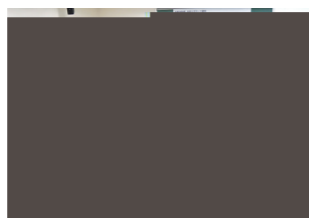
今瀧 哲之 (香川県政策部文化芸術局瀬戸内国際芸術祭推進課課長補佐)
「瀬戸内国際芸術祭2016〔秋会期の概要〕」

外戸保 大介 (下関市立大学経済学部准教授)
「下関の地域経済と「海峡」を活かした地域資源」

パネルディスカッション

丸藤 競・今瀧 哲之・外戸保 大介・
松尾 ななり (フリーアナウンサー・元KSB瀬戸内海放送)

コーディネーター：難波 利光 (下関市立大学教授)



●地域インターンシップ関連



《田植え・芋植え体験への協力》
日 付：5月29日(日)
場 所：菊川町善井地区「貴和の里」
参加者：松本 貴文講師、吉武 由彩特任教員、
学生11名

《集落営農組織活動の支援ボランティア(田植え)》
日 付：6月4日(土)
場 所：豊田農業公園みりの丘周辺
参加者：松本 貴文講師、吉武 由彩特任教員、
学生8名

《鳥獣害対策と歴史遺産保全活動》(第1回)
日 付：6月19日(日)
場 所：豊田町榎原「榎原ゆうあい会」
参加者：松本 貴文講師、吉武 由彩特任教員、
学生3名

《鳥獣害対策と歴史遺産保全活動》(第2回)
日 付：7月18日(月)
場 所：豊田町榎原「榎原ゆうあい会」
参加者：松本 貴文講師、吉武 由彩特任教員、
学生8名

《集落探検と地域資源発見ワークショップ》
日 付：8月17日(水)
場 所：菊川町善井地区「貴和の里」
参加者：松本 貴文講師、吉武 由彩特任教員、
学生5名

《鳥獣害対策と歴史遺産保全活動》(第3回)
日 付：8月18日(木)
場 所：菊川町善井地区「貴和の里」
参加者：松本 貴文講師、吉武 由彩特任教員、
学生4名

《集落営農組織活動の支援ボランティア(キャベツの移植)》
日 付：8月25日(木)
場 所：豊田農業公園みりの丘周辺
参加者：松本 貴文講師、学生4名



《稲刈り体験への協力》
日 付：10月2日(日)
場 所：菊川町善井地区「貴和の里」
参加者：松本 貴文講師、吉武 由彩特任教員、
学生5名

《集落営農組織活動の支援ボランティア(収穫祭の開催)》
日 付：10月15日(土)
場 所：豊田農業公園みりの丘周辺
参加者：松本 貴文講師、吉武 由彩特任教員、
学生9名

《鳥獣害対策と歴史遺産保全活動》(第4回)
日 付：10月16日(日)
場 所：豊田町榎原「榎原ゆうあい会」
参加者：松本 貴文講師、吉武 由彩特任教員、
学生5名

《芋ほり体験への協力》
日 付：11月5日(土)
場 所：菊川町善井地区「貴和の里」
参加者：佐藤 裕哉准教授、学生6名

《「彩の城下町長府・秋」支援ボランティア》
日 付：11月19日(土)・11月20日(日)
場 所：長府地区
参加者：松本 貴文講師、学生22名(19日)
学生12名(20日)

《鳥獣害対策と歴史遺産保全活動》(第5回)
日 付：12月4日(日)
場 所：豊田町榎原「榎原ゆうあい会」
参加者：松本 貴文講師、吉武 由彩特任教員、
学生5名

《鳥獣害対策と歴史遺産保全活動》(第6回)
日 付：3月12日(日)
場 所：豊田町榎原「榎原ゆうあい会」
参加者：松本 貴文講師、吉武 由彩特任教員

開催場所：下関市立大学 本館3階 II-301教室

★第1回★ 5月18日(水) 18：00～19：00
「立法裁量とその統制手法」
講 師：山本 真敬講師

★第2回★ 6月15日(水) 17：30～19：00
「石坂洋次郎とその文学ー純文学から大衆文学への模索と転換ー」
講 師：程 長泉特任教員
「政府投資に対する監督についてー中国政府と日本政府を比較してー」
講 師：李 燕客員研究員

★第3回★ 7月6日(水) 18：00～19：30
「北九州市における金融機関の店舗展開」
講 師：森 祐司教授
「東アジア地域経済統合の政治学ーなぜ多数の協力枠組みが並存するのかー」
講 師：岡本 次郎教授

★第4回★ 7月27日(水) 18：00～19：30
「欲望の体系(幸福の追求)」と「幸福であるに値すること」
ー価値論としての経済学と倫理学ー
講 師：西田 雅弘教授
「婦人労働の実情」にみる女性パートタイム雇用の変遷
ー1960年代から1970年代を中心にー
講 師：田中 裕美子准教授



●平成28年度 地域共創研究報告会

日 時：6月8日(水) 18：00～19：00
場 所：下関市立大学 本館2階 I-201教室
報告者：1. 下関市のまちづくり運動の現状と課題
松本 貴文講師
2. 城下町長府地区マップからその歴史と文化・社会にふれる
吉武 由彩特任教員



●関門地域共同研究会 成果報告会

日 時：5月16日(月) 14：00～16：30
場 所：海峡メッセ下関 801大会議室
報告者：1. 関門地域における北九州空港の運営および利用に関する調査研究
宮下 量久 (北九州市立大学地域戦略研究所 准教授)
2. 下関市内からの北九州空港利用実態と利用促進に向けた課題
ー下関市内立地企業に対するアンケート調査結果からー
内田 晃 (北九州市立大学地域戦略研究所 教授)
3. 関門地域の観光の現状と課題ー地域外住民からの意識等に注目してー
南 博 (北九州市立大学地域戦略研究所 教授)
4. 関門地域における歴史遺産の観光活用ー鈴木商店系企業を中心にー
木村 健二 (下関市立大学経済学部 名誉教授)
5. 自治体境界による民間企業への阻害要因に対する観光施策への影響
難波 利光 (下関市立大学経済学部 教授)



ミニシンポジウム「地方創生と関門観光ーインバウンドの可能性」

パネリスト：久留島雄一 (有限責任監査法人トーマツ 公認会計士)
宮崎 彰三 (北九州市産業経済局観光にぎわい部集客交流担当課長)
藤原 良二 (下関市観光交流部観光政策課 課長)
柳井 雅人 (北九州市立大学副学長・地域戦略研究所長)
難波 利光 (下関市立大学附属地域共創センター長)

●国際共同研究

〈東義大学校〉第6回国際共同研究シンポジウム
日 時：2月14日(火) 15：00～17：30
場 所：東義大学校 国際館 304号(3階)
テーマ：グローバル化下の韓国経済と日本経済
挨 拶：カン・ジュンギョ (東義大学校 商経学部長)
ペ・グノ (東義大学校 経済経営戦略研究所長)
難波 利光 (下関市立大学附属地域共創センター長)



研究報告：1. 現代世界経済における貿易ガバナンスー韓国の経験を踏まえた日本の視点
山川 俊和 (下関市立大学 准教授)
2. 若年層の不安定就労に関する日韓比較研究
森山 智彦 (下関市立大学 特任教員)
3. 物流中小企業の健全な発展を支援する政策方向について
ー日本の政策事例を中心に
ク・ギョンモ (東義大学校 教授)



●第9回鯨資料室シンポジウム

日 時：1月28日(土) 13：30～15：40
場 所：下関市立大学本館2階 I-206教室
テーマ：「中部家資料：日新丸積量図を通じてみた南水洋捕鯨と、捕鯨
母船の過去・現在・未来を辿る」

プログラム：

第1部 報告
石川 創 ((公財)下関海洋科学アカデミー鯨類研究室室長)
「調査捕鯨母船の過去・現在・未来」
岸本 充弘 (下関市立大学附属地域共創センター委嘱研究員)
「中部家資料：日新丸積量図から見えてくるもの」



第2部 シンポジウム

パネリスト：
森 英司 (共同船舶株式会社代表取締役社長)
石川 創 ((公財)下関海洋科学アカデミー鯨類研究室室長)

コーディネーター：
岸本 充弘 (下関市立大学附属地域共創センター委嘱研究員)

